

翔北高生 システム構築



Jencoの使い方を教える生徒（右）

学校祭で試験運用

商品購入者へポイント

湯沢市の湯沢翔北高校総合
ビジネス科の3年生が、商品
購入にためたポイントと景品
を交換できるシステムを作り、学校祭で初めて試験運用
した。国連の持続可能な開発
目標（SDGs）に関連する
商品を購入した人にポイント
を連呈した。

東京都のIT企業「ミウン
ドテフルコム」のシステム
を教材として活用。3年生10
人が4月から「課題研究」の
授業を使い、同社のシステム
をベースにポイントシステム



Jencoの画面

と名付けた。
学校祭は15日に行われ、生
徒が市内の農家と協力して
開発した乾燥サランボ「ミ
ツチェリー」や、ゼロカーボ
ンの認知度向上を図るエテ
ザインしたオリジナルタオル
などを販売。購入者のスマー
トフォンに表示されるQRコ
ードを通してポイントを付与
する仕組みで、保護者らが使
い方の説明を受け、ポイント
をためてお菓子やトートバッ
グと交換していた。
システム運営を担当した小
塚悠平さんは「SDGsに貢
献しながら地域独自のポイン
トシステムを運用すること
で、湯沢市の新たなにぎわい
につなげたい」と話した。
今後は、試験運用で見えた
課題と解決策を授業で話し合
い、地域のイベントや商店街
で活用できるか検討を進める
という。

（館岡朋美）